

流域治水の考え方

流域治水のイメージ図 (出典：国土交通省ホームページ)



「流域治水」…
流域全体で行う
総合的かつ多層的な
水災害対策

氾濫をできるだけ
防ぐ・減らすため
の対策
【河川対策】



被害対象を減少
させるための対策
【流域対策】

被害の軽減、早期
復旧、復興のため
の対策
【ソフト対策】

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【河川対策】
 - ・護岸整備、河道掘削、堤防嵩上げなどの河川改修、水門整備
 - ・排水ポンプの整備、排水ポンプ車の活用などの内水氾濫対策の強化
 - ・農業用取水施設の改良や占用物件の適正管理
 - ・校庭貯留や公園貯留施設などの雨水貯留浸透施設の整備
 - ・農業用ため池や排水機場の活用や適正管理
 - ・各戸貯留や水田貯留などの流出抑制対策の推進
 - ・砂防施設の整備、森林整備、治山事業の推進

- 被害対象を減少させるための対策【流域対策】
 - ・水災害リスクを踏まえたまちづくりの推進
 - ・土地利用の適正指導、無秩序な開発の抑制
 - ・災害ハザードエリアの開発抑制
 - ・水災害リスク情報の空白域の解消
 - ・「まちごとまるごとハザードマップ」の推進

- 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策【ソフト対策】
 - ・洪水浸水想定区域図の作成、土砂災害警戒標識の設置など
 - ・ハザードマップの周知
 - ・住民及び学校への水防災教育、出前講座、避難訓練など
 - ・サイポスレーダーなどによる河川水位情報の提供
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成と避難の実効性確保

県では、あらゆる関係者の協働による治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」としてとりまとめています。

▶ 静岡県「流域治水プロジェクト」ホームページ
流域治水プロジェクトを策定・公表している市内の水系：
坂口谷川水系、勝間田川水系、萩間川水系、須々木川水系、東沢川水系



【用語集】・河道掘削…河道を掘り、水が流れる面積を広くすること ・内水氾濫…排水施設の能力を超えた降雨時などに河川へ排水できずに浸水すること ・雨水貯留浸透施設…河川に流出する雨水を抑制するため、一時的に貯留、または、地中に浸透させる施設



流域治水

～流域全体で取り組む水災害対策～

問い合わせ 建設課 本杉康 ☎2628

近年、市内では、令和元年の台風第19号や昨年9月の台風第15号などにより、甚大な豪雨被害が発生しています。このような水災害に備えるためには、これまでのように、国や県、市の河川管理者による取り組みだけでなく、「集水域（雨水が河川に流入する地域）」から「氾濫域（河川の氾濫により浸水が想定される地域）」にわたる流域全体の関係者が協働し、水災害を軽減させる治水対策である「流域治水」への転換を進める必要があります。河川管理者による河川整備には長い時間が必要であるため、流域のあらゆる関係者（国や県、市、企業、住民など）によって、ハード（施設整備など）とソフト（運用など）一体で多層的な対策を行っていくことが求められます。今号は、流域治水の取り組みと対策について紹介します。

近年雨の降り方が変化 集中豪雨の発生件数が増加

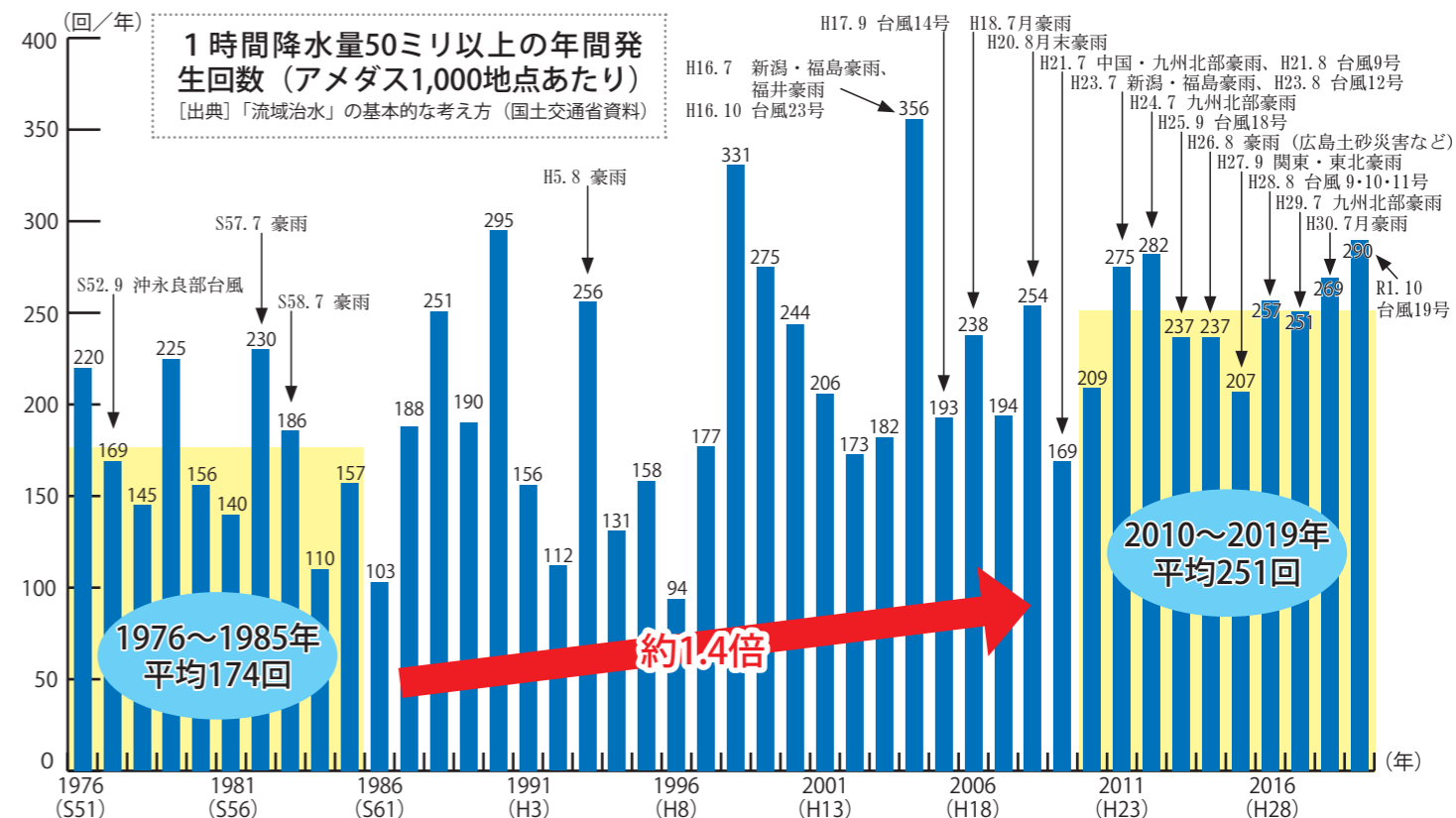
気象庁によると、過去と現在では、雨の降り方が大きく変わってきており、全国各地でゲリラ豪雨などの集中豪雨の発生回数が増えています。

また、大型台風の襲来や集中豪雨による浸水被害が頻繁に発生しており、特に、時間雨量50ミリを超える短時間での強い雨の発生回数が増加しています。

グラフは、全国のアメダス1000地点あたりにおける1時間降水量50ミリ以上の年間発生回数を表したものです。1976年から1985年までの約10年間で平均174回であった発生回数は、2010年から2019年までは平均251回と、約1.4倍に増加しています。それに伴い、全国各地で甚大な豪雨被害が発生しており、近年では、毎年のように発生している状況です。

気候変動を考慮した計画に

このように気候変動の影響により、今後水害の更なる頻発化や激甚化が懸念されるため、気候変動による降雨量の増加、潮位の上昇などを考慮した治水計画に見直す必要があります。



日々の生活の中で、誰かに相談したいと思っていることや疑問に感じていることはありませんか。秘密は厳守されますので、ひとりで解決しようとせず、まずは各種無料相談窓口にご相談してみたいはいかがでしょうか。

マスクの着用は任意としますが、体温測定などの実施については引き続きご理解、ご協力をお願いします。また、体温が37.5℃以上ある場合のほか、咳症状や倦怠感などがある場合は、相談を見合わせていただきます。

10月の相談



静岡牧之原茶マスコット
チャーフイン

一般相談

日常生活の中での困りごとや悩み、分からないことなどの相談を受け付けます。困ったらまずは相談を。
期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～12:00
13:00～16:00
会場 市民相談センター
☎市民相談センター ☎030088

消費生活相談

契約トラブルや多重債務、通販、インターネット関連など、消費や契約に係る相談を受け付けます。
期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～12:00
13:00～16:00
会場 市民相談センター
☎市民相談センター ☎030088

法律相談(先着8人)

相続や遺産分割、離婚、多重債務や債務整理などの法律解釈や手続き、人権に関する相談などを無料で受け付けます。弁護士、行政相談員、人権擁護委員が1回30分で対応します。相談時には、参考となる書類などを持参してください。また、10月分から事前予約が可能になります。
期日 ①10月4日(木) ②18日(木)
時間 10:00～12:00
13:00～15:00
会場 市民相談センター
予約 下記期間に電話で受け付け
①9月21日(木)～10月3日(木)
②10月5日(木)～10月17日(木)
☎市民相談センター ☎030088

心配ごと相談

日常生活から起こる家庭問題や金銭貸借などの紛争を解決。司法書士が対応します。事前予約可。
期日 10月11日(木)・25日(木)
時間 9:00～11:30
会場 市民相談センター
☎市民相談センター ☎030088

暮らしなんでも無料相談

日常生活でのトラブルや悩みごと、困ったことなどの相談を受け付けています。
期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～17:00
☎ライフサポートセンターしずおか
しだはい事務所 ☎054(646)6055
☎市民相談センター ☎030088

女性相談

女性の抱えるさまざまな悩みを、女性相談員と一緒に考え、解決の糸口を探すお手伝いを電話や面接にて対応します。
期日 月曜日～金曜日
時間 9:15～16:00
会場 さざんか
☎家庭児童相談室 ☎030083

税の無料相談

税に関するあらゆる相談に無料で応じます。東海税理士会へ相談者による事前予約が必要です。
期日 10月18日(木)
時間 13:30～15:30
会場 市民相談センター
☎東海税理士会島田支部 ☎054736575

行政相談

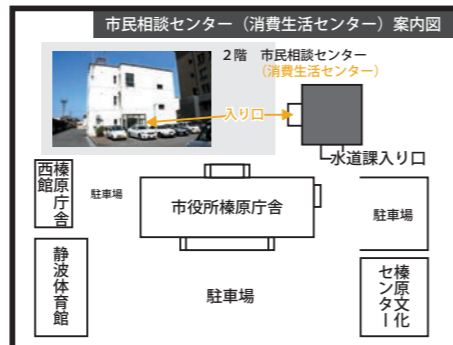
行政相談委員が、行政に対する苦情や要望などの相談を受け付けます。
期日 10月4日(木)・18日(木)
時間 10:00～12:00
会場 市民相談センター
☎市民相談センター ☎030088

介護相談

介護する人たちを支えるため、相談・支援体制を整えています。
期日 月曜日～金曜日
*祝日を除く。
時間 9:00～17:00
(水曜日は19時まで)
会場 さざんか
☎長寿介護課 ☎030076

高齢者虐待予防相談

「高齢者に関する虐待かな」と思ったときの相談です。事前に問い合わせをして、気軽に相談ください。
期日 10月20日(金)
時間 13:30～16:00
会場 さざんか
☎地域包括支援センターオーリーブ ☎028822



*職員や来庁者など、他人に会うことなく入ることができます

坂口谷川水災害対策プラン

県では、浸水被害が頻発している坂口谷川下流部の細江地区などを対象に、重点対策流域として、「坂口谷川水災害対策プラン」を令和4年5月に策定しました。「床上浸水の解消」、「道路冠水の軽減」、「逃げ遅れによる人的被害をなくすこと」、「氾濫発生後の社会機能の早期回復」を目標として、取り組みを示しています。

今後も被害の検証を踏まえた効果的な浸水軽減策の検討を行い、対策の追加や見直しを行っていきます。

対策内容の一例

排水ポンプの増強



既存ポンプ隣に1基増設予定(東福田)

河川や道路側溝の浚渫や清掃



準用河川白羽川の浚渫(堀之内)

準用河川沢垂川の改修



改修前



改修後(令和2年度)

浸水被害時のポンプ設置による強制排水



排水ポンプ車による排水作業

住民説明会



細江地区浸水対策説明会(令和5年5月)

(その他)

- 水田貯留やため池貯留の可能性を検討
- 住民への出前講座、防災講座などの実施
- 要配慮者利用施設への周知、支援 など

市では、激甚化、頻発化する水災害に備え、ハード・ソフト一体となった対策を市民の皆さんや県、近隣市町などあらゆる関係者と連携しながら、流域一体となった水害に強いまちづくりに取り組んでいきます。